

# GINOWAN 2023 地域づくり塾

第6期

-GINOWAN TIKI ZUKURI JYUKU 2023-



## 第3回講座

### フィールドワーク ～地域の資源を歩いて知ろう～

日時：2023年10月14日（土）9:30～15:00

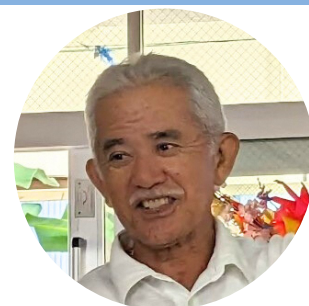
場所：喜友名区公民館

案内：新垣 清涼 氏（喜友名区自治会・老人会）

参加者：13名／16名（地域コーディネーター、自治会、福祉・医療関係等）

## フィールドワークへ

第3回講座では、秋晴れの心地よい空の下、喜友名区でのフィールドワークを行いました。はじめに喜友名区自治会の新垣清涼さんより、地域の特性として高低差がある地形のなかで湧水を利用し生活してきたこと、歴史文化財のあるポイントなどを説明していただきました。その後、前回講座で学んだスキルを生かして、チームで「どういった視点でまち歩きをするか」話し合いました。



各自暑さ対策をして、いよいよフィールドワークへ！公民館のすぐそばの民家の敷地内には、琉球王朝時代から残る庭園があり、当時の風情を感じました。戦後米軍が油送管を通していたパイプラインのあとには、住民によって花壇が整備され、今は地域のくつろぎの場となっていました。集落を守るように7カ所に配置された喜友名の石獅子群は、威厳ある顔つきのものや優しい雰囲気のものなど、個々に表情が異なり、どれも見るものを楽しませてくれました。急勾配の石畳道を抜け、たどりついた喜友名泉（ちゅんなーがー）では、当時の優れた石造技術で作られたカーグラー・ウフガーのふたつの湧水口を見ながら、当時の湧水を利用した生活をお聞きしました。90分のまちあるきを無事に終えたあとは、公民館に戻り、ゆいペイフォワードの構成団体でもあるOLY CAFEのお弁当をいただきました。午後はそれぞれのグループが得たことの共有と、さらに企画を絞り込むためのワークを行いました。



第1回講座の普天間第二小学校区活動発表でご紹介した、喜友名区自治会の知念桂子会長と公民館レンジャーのみなさんにご挨拶をいただきました。この日も早朝から子ども会の行事に大忙しのレンジャーの皆さんでした。

## 【ワーク】チームのテーマや調べたいこと



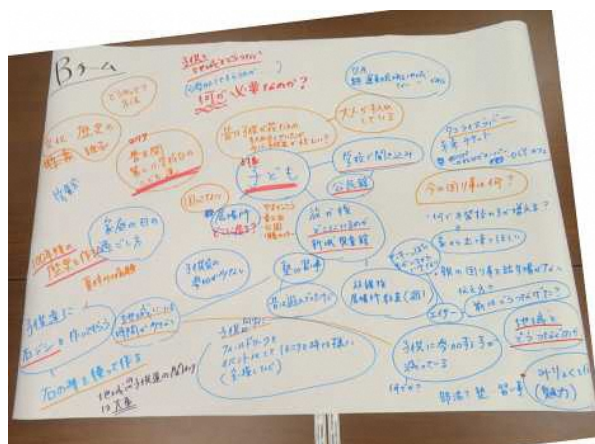
### 【Aチーム】

テーマ：それぞれに役割がある地域づくり

エリア：普天間三区自治会エリア

対象：障がいのある方や独居高齢者

➢今回のフィールドの中で生活保護率が高いエリアを選んだ。身体障がいの方以外にも見えない障がい（精神障がい・引きこもりなど）を持つ方にも、役割を持たせる地域づくりが必要では？と考える。その為にどういった活動ができるのか、どこでコミュニケーションを取って行けるかなどを、具体的にしていきたい。



### 【Bチーム】

テーマ：子どもと地域をどうつなぐか？

エリア：普天間第二小学校区

対象：子どもたち

\*子どもたちに伝えられていない地域の歴史文化（資源）を、風化させてしまうことなく、きちんと継承していきたい。学校だけでなく、時代の変化に伴い変わっている子どもの居る場所と、それらをつなぐには何が必要か考えたい。子どもたちを対象に石獅子の図画コンクールを開催したり、石獅子を彫って“100年後の歴史をつくる”などのアイデアも出てきた。



### 【Cグループ】

テーマ：ひとと人とのつながり

エリア：普天間第二小学校区全域

対象：ぎのわんヒルズ通りなどのお店

\*開発がすすむぎのわんヒルズ通りのまちの変化から、ニューカマーと既存の住民をどうやってつないでいくかを考えたい。新しくお店をはじめた方に、地域とのつながりについて話を聞いてみたい。公民館で住民と店舗の交流会を自治会主催で無料で実施するなど、お店と自治会がつながることで、お互いにwin-winな関係をつくりたい。



## 受講生アンケートより



- 水を通して人が繋がったように新しい繋がりを見つけたい。
- 急な坂道が多く、年配の皆さんがお元気なのはこの道のおかげで足腰が鍛えられているのでは！？
- それぞれの今ある形は無から現れたのではなく、昔からの流れで作られたもの、それを知ることによって地域のものを資源として使うこともできるのだと感じた。
- 清涼さんの地域への愛着を感じました。
- 今の生活が便利になったのは昔の人達の知恵のおかげだと感じたので、感謝の気持ちを忘れず気づいていきたいです。

### 第4回講座は⇒⇒⇒

内容：地域の実践から学ぶ

日時：2023年10月18日（水）19:00～21:30

場所：普天間三区公民館

講師：渡名喜 庸松氏(普天間三区自治会 会長)／南 信乃介 氏(那覇市繁多川公民館 館長)

